

共通の目的



図書館のサービスポイント



地域活動の拠点



児童・生徒の居場所

両施設の共通機能

図書館サービスポイント

- 貸出・返却
- 読み聞かせなどの児童サービス
- 複写物などの受け取り
- インターネットの利用

地域活動の拠点

- 多目的スペース(ラーニング・コモンズ)の活用
- 交流・学習プログラムの実施(現在行われているボランティア活動など)
- 地域課題を解決するための情報提供(資料提供等)

児童・生徒の居場所

- 児童・生徒の居場所スペースの提供
- 学習支援プログラム(例えば学校での学習を補完するようなプログラム)の提供
- ボードゲーム、バーチャルリアリティなど新しい体験サービスの提供

図書館固有の機能

資料の収集・保存

- テーマを分担して幅広い資料の収集
- 電子図書館機能の充実と提供
- 地域資料の収集・保存
- 地域学習教材の開発

資料情報流通の拠点

- 翌開館日までに各サービスポイントで資料が受け取れる体制
- オンラインでの予約
- オンラインレファレンス
- 各コミュニティコモンズでのイベント開催



コミュニティコモンズへの変更点

図書館サービスポイントのために

- 資料の一時置きのためのスペース
- インターネットサービスのためのパソコン(プリントアウトは要検討)
- 新聞、雑誌等の閲覧スペース

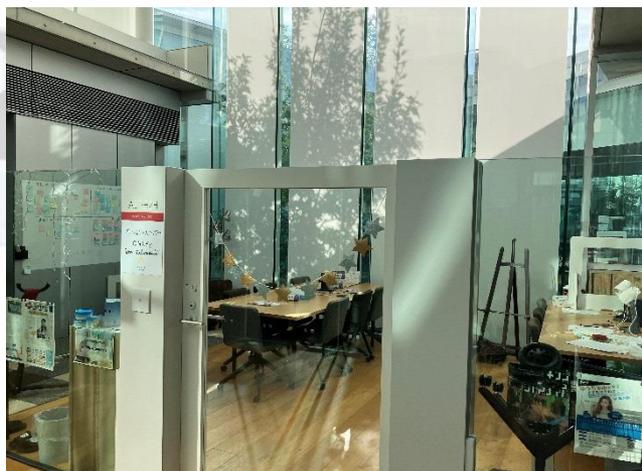
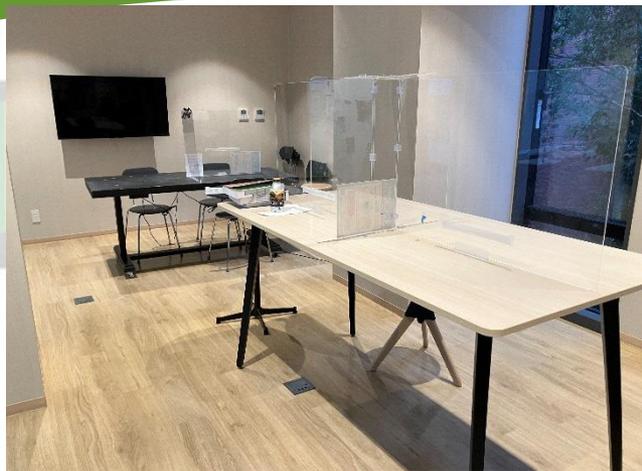
居場所機能のために

- 書架の大幅な整理
- 可動式椅子、机等の整備(大きなスペースをとれるようにする)
- 無線LAN、電源等の整備

子育て支援機能のために

- 現行の読み聞かせスペースなどは維持

多目的スペースのイメージ



新しい図書館職員の役割

- 北杜市全体のバランスがよい資料収集
- コミュニティコモンズを含めたさまざまな場所でのアウトリーチ活動（図書館以外の場所で図書館サービス・イベントをおこなう活動）
- 地域資料の収集、保存とデジタル化。そして地域学習教材の開発（博物館学芸員や地域住民との連携が必須）
- 情報リテラシー教育



コミュニティ commons の運営

- 基本的にコミュニティ commons は地域住民にお任せすることを提案
- コミュニティ commons の目的を地域住民で共有する
- さまざまな交流プログラムの企画、実施等を住民が主体的に実施する（自治体は情報提供などの支援）
- 長期的には施設管理運営を地域住民に任せることも視野

